

会報

第36号

令和5年11月1日

わかば支援学校同窓会

山梨県南アルプス市有野 3346-3

4年ぶりでした

会長 長倉 正裕

同窓会会員の皆様、こんにちは。今年は暑い夏でしたね。この暑さの原因はCO2(二酸化炭素)による地球温暖化です。でもCO2は悪いことばかりではなく、最近の研究では農作物の成長を助けたり、プラスチックを作れることが証明されました。このような技術がもっと進歩すれば、昔のようにもう少し涼しい夏に戻れるのかもしれませんが。とはいえCO2削減への協力は必要不可欠ですが。

さて今年は4年ぶりに同窓会総会と親睦会が榎形のあやめホールで行われ、暑い日にもかかわらず、多くの参加がありました。私もそうですが、同窓生と保護者の皆様は、この日をどれだけ待ち望んだのかは当日の笑顔に出ていました。特にフィナーレの第2校歌の合唱は心に焼き付いたことでしょう。これも企画、準備、運営等にご尽力くださいました教職員の皆様のおかげです。紙面をお借りしまして篤く御礼申し上げます。

本当は「わかばの学校」でやりたい。その気持ちはみんな同じだと思います。しかしコロナ感染と暑さを考えますと、残念ながら、あやめホールのような場所でないといけません。当面は開催することを目的とする総会・親睦会となりますが、どうかご理解いただきますようお願い致します。来年も多くのご参加をお待ちしています。これからもわかば支援学校同窓会をよろしくお願い致します。

ご挨拶

校長 小林 勝

同窓会会員の皆様には、日頃より同窓会活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。令和2年からの新型コロナウイルス感染症の広がりにより3カ年にわたり総会及び親睦会を開催することができませんでしたが本年5月の5類移行により多くの行事が戻り始めました。実施場所を変え、感染防止対策を行いながらも同窓会総会・親睦会が4年ぶりに開催できたこと、本当に嬉しく思いました。

多くの会員及びご家族の方々が、わかばで共に過ごした思い出や近況などを年に1回、友達や先生と顔を合わせて楽しく積もる話をする、そんな、とても貴重な時間が持てたことと思います。

長倉会長様のもと、会員の皆様と共に今後も同窓会活動が充実していくことを願っています。

新型コロナウイルス感染症とは、これからも共存しながら過ごす日々が続いていくことと思います。

会員の皆様も体調に留意され、健康にお過ごしください。来年の総会・親睦会で再開できること楽しみにしております。

ご挨拶

PTA会長 横山 哲也

秋冷の候、同窓会会員の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。この度同窓会理事を務める事となりましたPTA会長の横山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

娘は現在高等部3年生、中等部からわかばにお世話になっております。学校生活も残りあとわずか、時の流れの速さを感じる今日この頃です。

さて、同窓会活動は、わかばを巣立っていった仲間が集い、直接顔を合わせて交流出来る絶好の場であり、学校生活で得た仲間意識やきずなを思い出せる素晴らしい機会でもあります。卒業後会員の皆様は様々な方向に進み、新たな出逢いやたくさんの挑戦を経験されてきた事と思います。このような場で皆様の得たものを寄せ合う事により、新たな考え方や見方が出来あがり、かけがえのない大切なものに出会う可能性を秘めています。私は、同窓会活動で宝物が見つけれられるのではないかと楽しみにしています。

新型コロナウイルスも5類に移行し社会活動も大きく動き始めました。会員の皆様におかれましては体調にご留意され、健康な日々をお過ごしください。同窓会でお会い出来る事を楽しみにしております。





新会員の皆さん

仕事を始めて思ったこと

長田 あかりさん (R4 年度卒業生)

わかばを卒業して半年たちました。私は、おかじま古上条店のお惣菜部門で働いています。お弁当を作る仕事以外もフライや焼き物、値札つけや品出しも任せてもらえるようになりました。入社した当初は、不安がありました。が店長さんをはじめ職場の方が優しく声をかけてくださったので安心して仕事をする事ができています。初めての給料は、両親に渡して貯金をしてもらい、必要な分だけもらっています。いただいたお金でわかばの友達とイオンに行ったり、一緒に映画に行ったりしています。自分で服も買いました。

わかばの友達、先生方と過ごした3年間は充実した日々でした。

また、わかばの皆に会えるように仕事を頑張ります。



仕事を始めて思ったこと

金子 希望さん (R4 年度卒業生)

わかば支援学校を卒業して約半年が経ちました。私は今、ときめきスイーツクラウドに通所しています。初めは覚えることが多く大変でしたが今は職場や仕事にも慣れ、一生懸命働いています。仕事をするうえで、コミュニケーションをとることが一番大切だと思いました。作業をしていてわからないことや失敗することもあると思います。そんな時に、社員の人や職員さんにわからないことや失敗したことを伝えないと、会社のミスにつながってしまうからです。どうしても聞くことがはずかしいと思ってしまうのですがそんなことはありません。わからないことを聞けば丁寧に教えてくれます。私は、困ったときはすぐに聞くようにしようと思いながら仕事をしています。これからも社員の人、同じ事業所の人と協力しながら頑張ろうと思います。



毎日事業所へ通っています

八巻 友咲さんの母 (R4 年度卒業生)

12年間お世話になったわかば支援学校を卒業して半年が過ぎました。娘は小さなころから関わってくれる皆さんに本当に恵まれていて、ここまで成長出来たと感謝しております。卒業後は、3か所の事業所さんにお世話になっております。在学中は寄宿舍を利用していたので卒業後も短期入所を利用しつつと考えていましたが、コロナもあり持病のてんかん発作もあり難しいとのことでした。福祉に手厚いと思っていましたがまだまだ難しい現状だなど実感しました。

娘は卒業後、休むことなく毎日事業所へ通っています。

一番近くでサポートしてくれている祖母や事業所のスタッフの皆さんには本当に感謝しています。娘と私たち家族が日々穏やかに生活できているのは、周りの今まで関わって頂いた皆さん、今関わって頂いている皆さんのおかげと私は強く感じております。

